

平成19年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康福祉部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査(サーベイランス)を実施しています。検査の結果は、下記のとおりです。

平成20年3月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	平成19年度 計		
			検体数	陽性	陰性
結 核	牛		2,133頭		2,133頭
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	673頭	17頭 ^{※1}	656頭
	牛	枝肉 (食肉処理場)	383検体	3検体 ^{※2}	380検体
ウ エ ス ト ナ イ ル ウ イ ル ス 感 染 症	蚊	蚊 (馬飼育施設)	1,161匹		1,161匹
		蚊 (府保健所)	3,548匹		3,548匹
	野鳥	脳	16羽		16羽
オ ウ ム 病	鳥類	糞便	317羽		317羽
高 病 原 性 鳥 イン フ ル エ ン ザ	鶏・アヒル	気管・クロアカスワブ	1,470羽		1,470羽
		血清	1,440羽		1,440羽
	野鳥	気管・クロアカスワブ	28羽		28羽
	野鳥(渡り鳥)	糞便	495検体		495検体
	豚	鼻腔スワブ	160頭		160頭
肺		7頭		7頭	
デ ン グ 熱	蚊		3,548匹		3,548匹
日 本 脳 炎	豚	血清	200頭	30頭 ^{※3}	170頭
		蚊	3,548匹		3,548匹
ブ ル セ ラ 症	牛	血清	931頭		931頭
つ つ が 虫 病	野ネズミ	ツツガムシ	16匹		16匹
レ プ ト ス ピ ラ 症	アライグマ	尿	202頭	13頭 ^{※4}	189頭
E 型 肝 炎	ニホンジカ、 イノシシ	血液	18頭	1頭 ^{※5}	17頭
エ キ ノ コ ッ ク ス 症	犬	糞便	62頭		62頭
ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム	牛	糞便	145頭		145頭
B S E	牛	延髄 (食肉衛生検査所)	27,122頭		27,122頭
		延髄(死亡牛)	96頭		96頭
ト キ ソ プ ラ ズ マ 症	豚	血清	457頭	17頭 ^{※6}	440頭
ア ラ イ グ マ 回 虫 症	アライグマ	糞便	236頭		236頭
フ ィ ラ リ ア 症	ニホンジカ、 イノシシ	皮膚	21頭	8頭 ^{※7}	13頭

※1 0-157陽性農場に対しては、生菌製剤の投与や畜舎の消毒などの衛生対策指導が実施されており、陰性が確認されるまで定期的に検査・指導を実施します。

※2 0-157陽性検体については、次亜塩素酸ナトリウム消毒後のふき取り検査で陰性を確認済みです。

※3 日本脳炎については平成17、18年度には確認されませんでした。今年度抗体の保有が確認されました。日本脳炎ウイルスへの感染対策としては、蚊の季節における防蚊対策が有効です。

※4 レプトスピラ症陽性については、一般的な感染症予防の観点からも野生動物と接する際には素手で触れず、また取り扱った後は手指を十分に洗浄、消毒して下さい。

※5 野生動物の肉等を生で食べることは避け、加熱を十分に行って下さい。

※6 トキソプラズマ症抗体陽性については、臨床症状はなく異常はありませんが、養豚農家へより一層の衛生対策の指導を実施しています。

※7 野生動物の肉からは直接人には感染しません。(ブユを介して感染幼虫が人に入ります。)